

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業計画期間	平成28年度～平成32年度（5年間）																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（あばしりとうぶ） 網走東部森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 網走南部森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本事業は、網走東部森林計画区のうち、網走川、止別川等、斜里川等流域の網走市、美幌町、津別町、斜里町、清里町、小清水町、大空町に所在する約136千haの国有林を対象としている。</p> <p>網走川地域の上流部はトドマツ、エゾマツ、ミズナラ、カンバ類等が混交する天然林が主体となっており、下流部はカラマツ、トドマツ等の人工林で構成され、水源かん養保安林や土砂流出防備保安林に指定されている。</p> <p>網走川地域の下流部や止別川と支流は、山岳地帯の森林から海岸林、農地周辺の防風林と多岐にわたり、トドマツ、エゾマツ、ミズナラ、カンバ類等が混交する天然林、カラマツ、トドマツ等の人工林で構成されており、一部には、山火事跡地に再生した広葉樹二次林や昭和初期の高齢人工林も見られる。また、小清水原生花園や網走湖・能取湖周辺のオホーツク海沿岸は、網走国定公園に指定され、藻琴山から美幌峠、湖西山に至る山稜部は、阿寒国立公園に指定されている。</p> <p>斜里川等の集水域から知床半島に至る山地は、トドマツ、エゾマツ、ミズナラ、カンバ類が混交する天然林及びカラマツ、トドマツ等の人工林で構成され、知床半島を除く上流部の森林は、地域の水源になっているとともに、山地災害のおそれのある地域もあることから、水源かん養保安林や土砂流出防備保安林に指定されている。</p> <p>世界自然遺産である知床半島地域は、原生的な天然林や貴重な生態系を有し、自然環境を将来にわたって保全することが求められており、海別岳から斜里岳に続く稜線部の森林等も、高山植物が発達している等優れた自然環境を有し、斜里岳道立自然公園に指定されている。</p> <p>本事業は、これらの地域の特性を踏まえて、森林の有する公益的機能の持続的発揮、また、地球温暖化の防止や生物多様性の保全等に貢献するため、積極的に間伐を推進するとともに、針広混交林化・複層林化等を促進するため、育成複層林へ導くための施業等を推進し、健全で多様な森林の整備・保全及びその基盤となる林道等の路網の整備を進める。この場合、土砂の流出、水質汚濁の防止等に配慮し、森林生態系の保全に努めるものとする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">479 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>13,589 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>64.8 Km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.8 Km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>2,928,026 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	479 ha			保育面積	13,589 ha		路網整備	開設延長	64.8 Km			改良延長	0.8 Km	総事業費			2,928,026 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	479 ha																				
		保育面積	13,589 ha																				
	路網整備	開設延長	64.8 Km																				
		改良延長	0.8 Km																				
総事業費			2,928,026 千円																				
費用対効果分析	総 便 益（B）	28,016,899	千円																				
	総 費 用（C）	3,756,619	千円																				
	分析結果（B / C）	7.46																					
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	必要性、効率性、有効性の観点から事業実施が妥当であると考える。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、山地災害防止機能等の発揮が求められている地域であり、更に、地球温暖化防止対策や国土保全の観点からも事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 本地域は、地域の水源として基幹産業である農業の振興に資する役割のほか、山地災害の防止に対する機能の発揮が求められており、計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

便 益 集 計 表

事業名:森林環境保全整備事業

都道府県名:北海道

施行箇所:網走東部森林計画区

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額 (千円)	備 考
水源 ^{かん} 涵養便益	洪水防止便益	5,270,692	
	流域貯水便益	1,140,286	
	水質浄化便益	2,508,257	
山地保全便益	土砂流出防止便益	9,184,719	
環境保全便益	炭素固定便益	2,950,337	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	416,817	
	木材利用増進便益	642,946	
	木材生産確保・増進便益	4,696,873	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	23,987	
	森林整備促進便益	1,181,985	
総 便 益 (B)		28,016,899	
総 費 用 (C)		3,756,619	
費用便益比	B ÷ C =		7.46

網走東部森林計画区 (網走南部森林管理署)

「網走東部森林計画区」
網走南部森林管理署
森林整備 更新：479ha
保育：13,589ha
路網整備 新設：20路線
改良：5路線



網走東部森林計画区(網走南部森林管理署)
森林環境保全整備事業



網走南部森林管理署 オニセツプ林道
縮尺 1:50,000



開設イメージ
1015林班林道(林業専用道)新設工事
(平成27年度竣工・清里町内国有林)



平成十八年三月調製
北海道森

根釧西部森林管理署
釧路根室森林計画区
弟子屈町